

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回11月の「てがたん」は11月8日(土)で、「ひつつきむし」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方々へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは11月1日(土)です。よろしくお願いいたします。

10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2008年10月11日(土) / 小雨
- 参加者 12名
- スタッフ 8名(石原直子、伊東茂子、小泉伸夫、染谷迪夫、中井清子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、保田行弘・五十音順)
- 鳥博職員 3名(岡廣志、斉藤安行、村松和行)

観察記録 - 10月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：チュウサギ、コサギ/カモ科：カルガモ、オナガガモ/クイナ科：オオバン
ハト科：キジバト/アマツバメ科：アマツバメ/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/シジュウカラ科：シジュウカラ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：カケス、オナガ、ハシブトガラス

【両生類・魚類・甲殻類】

アマガエル科：ニホンアマガエル/カナヘビ科：ニホンカナヘビ

【その他】

コウガイビル

【昆虫・クモ】

[トンボの仲間] アキアカネ [アブの仲間] ヒラタアブ [ハムシの仲間] クロウリハムシ

[チョウの仲間] アオスジアゲハ(幼虫)、イチモンジセセリ、ヤマトシジミ、シャチホコガ(幼虫)、モンシロチョウ、ムラサキシジミ
ウラナミシジミ

[バッタの仲間] ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ、ヒシバッタ、ハネナガヒシバッタ
イボバッタ、ツチイナゴ(幼虫)、ウスイロササキリ、アオマツムシ(声)、エンマコオロギ、ツツレサセ
コオロギ(声)、オカメコオロギ(声)、ミツカドコオロギ(声)、シバズ(声)、マダラスズ(声)

[カマキリの仲間] チョウセンカマキリ、オオカマキリ、ハラビロカマキリ(卵のう)

[クモの仲間] シグモ、クサグモ、オオヒメグモ、オナガグモ、シロカネイソウロウグモ、ジョロウグモ、オニグモ、ナガコガネグモ
ゴミグモ、ギンメッキゴミグモ、カラスゴミグモ

【花・草本】

キク科：タカサブロウ、アメリカタカサブロウ、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、タウコギ、セイタカアワダチソウ
カントウヨメナ、セイヨウタンポポ、ハルノゲシ、トキンソウ、ハキダメギク、ハハコグサ/タデ科/ポントクダテ、ヤブタデ
オオイヌタデ、アレチギシギシ、サデクサ、ミズヒキ、ミソソバ、イヌタデ/イネ科：エノコログサ、コツブキンエノコロ
ホナガイヌビユ、チチミザサ、ヨシ、マコモ、カゼクサ、ススキ、メヒシバ、アゼガヤ/カヤツリグサ科：コゴメカヤツリ
ヤマゴボウ科：ヨウシュヤマゴボウ/ハエドクソウ科：ハエドクソウ/カタバミ科：カタバミ/クワ科：カナムグラ
スミレ科：スミレ/アブラナ科：スカシタゴボウ、コイヌガラシ/ゴマノハグサ科：ウリクサ、トキワハゼ/ヒユ科：ヒナタイノコズチ
ヒカゲイノコズチ/シソ科：ホトケノザヒメジソ/ツユクサ科：ツユクサ/マメ科：ヌスビトハギ/ツルナ科：クルマバザクロソウ

【花・木本】

キンモクセイ(栽培種)、ポタンクサギ(栽培種)、クサギ(果実)

【果実・木本】

ブナ科：シラカシ/クマツヅラ科：クサギ/クスノキ科：クスノキ、シロダモ/モチ科：トウネズミモチ/ニレ科：エノキ、
ムクノキ/エゴノキ/カツラ科：カツラ



今回のてがたんのテーマは「クモの観察&手賀沼の秋を探そう」でした。小雨のせいか観察コースには人が少なく静かでした。そのおかげでクモのような小さな生物をゆっくりじっくり観察できたように思います。

次回のとがたんのテーマ「ひつつきむし」の植物たちも花を咲かせていました。11月のとがたんが楽しみです。



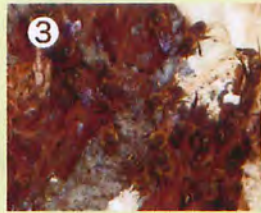
今回の案内人
伊東茂子さん



ヤマトシジミの食痕



道沿いのセイパンモロコシ



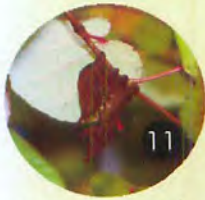
ニホンミツバチの巣



褐色のツチイナゴの幼虫



クロウリハムシ



シャチホコガの幼虫

←カツラの葉で発見!ケヤキやサクラなども幼虫の食草。

→渡り途中のアマツバメが手賀沼の上を飛んでいました!



アマツバメ



10月の観察コースと見た生き物

→アブラムシの死体にいました。主な餌はミミズやナメクジで湿った場所に生息。



コウガイビル

←手賀沼沿いにたくさん咲いていました。別名ウシノヒタイは葉の形が名前の由来



ミソソバ



カツラの果実



オオカマキリと格闘!



渡り直前?チュウサギ



ヒラタケの一種?



クルマバザクロソウ

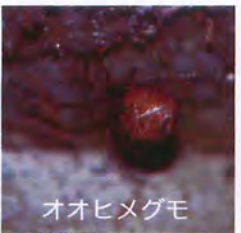
観察したクモたち



ジグモ



交接するクサグモ



オオヒメグモ



ヒメグモの一種と卵のう



ゴミグモの巣



オニグモ



オナガグモ



ナガコガネグモ

オナガグモは枝間などに粘性のない数本の糸を張り、そこを渡ってきたクモを粘性のある糸で捕まえて食べる。

クモを捕まえたオナガグモ



ジョロウグモの生活史



ジョロウグモ

5月下旬

→ 6月中旬

→ 8月下旬

冬を越した卵のうから幼虫が孵化

草や枝先などで幼体がみられる

脱皮をして急激に大きくなる

9月下旬

→ 10月中旬

→ 10月下旬

居候しているオスがメスと交接する

産卵が近づくお腹が大きいメスを見かける

卵のうを残し死ぬ

でたがんにご参加ありがとうございました。次回の参加もお待ちしています!